

事業概要票

事例NO. 30（平成17年度発表）

事例キーワード

消失藻場の復元

事業名		地域水産物供給基盤整備事業 岩館漁港
事業担当機関		山本地域振興局 農林部
事業期間		平成 14 年度 ～ 平成 23 年度
実施場所		山本郡八森町岩館地内
事業概要	全体事業費	4,486 百万円
	工事概要	外郭施設（沖防波堤L＝230m他）係留施設（護岸L＝200m他）等 1 式
	事業の目的	<ul style="list-style-type: none">・漁場を整備し、地域における水産資源の維持・増大を図る。・漁港及び漁場を一体的に整備し、水産物の生産・流通機能の強化を図る。・冬季における漁港の利用率向上を図る。・漁港を整備し、荒天時の漁船の安定係留を確保する。
環境配慮の内容	<p>【保全すべき対象の把握と工法等】</p> <p>①八森・岩館周辺はハタハタの産卵場となる藻場が多く、事業によりその一部が消失する恐れがある。</p> <p>②そのため波を弱めるための沖防波堤と漁港の間に海藻が成育しやすい水産調和型被覆ブロックを設置し新たな藻場を確保する。</p> <p>③工事に際しては、資材への土砂の付着およびコンクリート打設時の波浪での海水の汚濁防止や工事範囲のみでの施工とし区域外への影響を最小限となるよう配慮した。</p> <p>④漁業関係者と打ち合わせを行い、藻場の設置場所を決定した。</p>	
施工後の状況	<p>○沖防波堤の環境配慮の総延長は230.0mで、H16年迄に140.5mが施工済みで水産調和型被覆ブロック天端に新たな藻場が生育している。</p> <p>○H17には施工17.0m施工し、H18以降は72.5mを施工予定にしている。</p>	

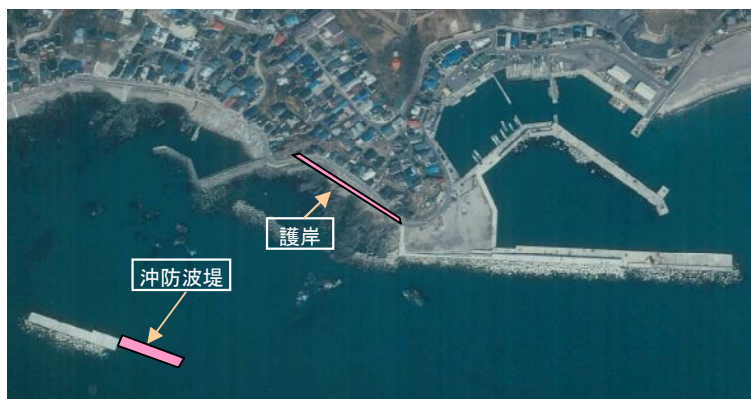
図面、写真、説明

ブロック沈設後の藻場復元状況写真

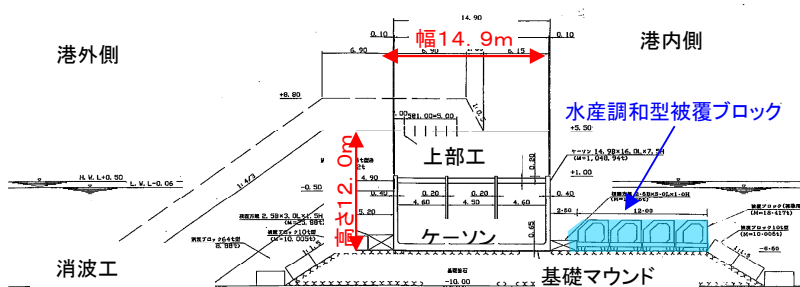


新たな藻場が誕生した！

航空写真



沖防波堤 標準断面



岩館漁港風景

